

社会実験内容

社会実験箇所（首都高速 4 号新宿線上り参宮橋区間）



参宮橋区間のデータ

- ・ 曲線半径：88m（設計速度 50km/h、規制速度 50km/h）
- ・ 日交通量：4.6 万台 / 日（平成 17 年 4 月の平日平均交通量）
- ・ 事故件数：181 件（平成 15 年度 首都高速ワースト 1）

都市高速道路のカーブ対策の必要性

- ・ 首都高速道路では、延長で 6%を占める約 100 箇所の事故多発カーブに 21%の事故が集中、参宮橋をはじめとする事故多発カーブ区間での安全対策が望まれています。
- ・ 事故の 75%の要因は、ドライバーの認識の遅れや、判断のミスなどのヒューマンエラーであり、車からは見えないカーブ区間での渋滞末尾や停止車両への追突事故に対して事故直前の情報提供が有効と考えられます。

社会実験実施期間

2005 年 3 月 1 日（火）から 5 月 31 日（火）まで

サービス概要とカーナビでの情報提供の様子

